

2. 基本的な考え方

(1) 「健康長寿しまね県民運動」の展開

- 「健康長寿しまね県民運動」は、健康長寿日本一を掲げ、健康で明るく、生きがいを持って生活する地域社会の実現を目指す、県民、関係機関・団体、行政が三位一体となった県民運動です。
- 県や二次医療圏の「健康長寿しまね推進会議」を母体に、広範で多様な取組を推進するとともに、地域ぐるみの自主的、主体的な活動の活性化を図ります。

(2) 目指せ！生涯現役、健康長寿のまちづくり

- 健康なまちづくりを目指し、子どもから高齢者の生涯を通じた心と身体の健康づくり、介護予防、高齢者の生きがいづくり・社会活動を推進します。
- 住民相互の支え合いなど地域の絆を大切にすることにより、地域力を高め、元気に生きがいを持って生活できる「生涯現役の健康なまちづくり」を目指します。

これらの基本的な考え方を踏まえ、次の4つの柱を推進します。

推進すべき柱

1

住民主体の地区ごとの健康づくり活動の促進

- 人と人との絆や支え合いを重視した住民主体の地区ごとの健康づくり活動の推進

2

生涯を通じた健康づくりの推進

1) 将来を担う子どもや若者の健康づくりの推進

- 子どもや若者の基本的な食生活や生活習慣の確立

2) 働き盛りの青壮年の健康づくりの推進

- 生活習慣のさらなる改善
- 行政、保健医療専門団体、保険者、経営者・労働団体、健診機関等との連携強化による健康づくりの推進
- 健康づくり情報の発信

3) 高齢者の健康づくり、介護予防、生きがいづくり、社会活動への支援

- 健康づくり、介護予防、生きがいづくり事業の一体的な事業展開
- 高齢者が地域で活躍できる社会づくり

3

疾病の早期発見、合併症予防・重症化防止

- 特定健康診査や事業所健康診断、がん検診等の受診率の向上
- 効果的な健康診査や保健指導の実施体制の整備
- 生活習慣病患者を継続的に支援するための体制整備

4

多様な実施主体による連携のとれた効果的な運動の推進

- 学校教育・放課後支援など、地域全体で子どもを育む活動との連携
- 地域と職域との連携
- 地域づくり施策、商工労働施策、農林水産施策等との連携